

令和3年度行財政改革推進委員会におけるご意見への対応状況について

No	テーマ	意見等	提案者	対応・方針(会議での回答)	所管	対応状況
1	窓口民間委託	窓口の民間委託でサービス低下を懸念する。AI等の活用も考えていると思うが、窓口の利用者は高齢者の割合が多い点も考慮が必要。民間委託が何を目標にしているか。	大塚委員	職員が対応すべきところ、他市事例を参考に、すみわけを考えていく。	組織戦略課	他市事例を収集し、引き続き検討する。
2	窓口民間委託	窓口民間委託はどんどん進めるべき	三宅委員	全てを委託するのではなく、職員の人材育成に窓口対応も必要。	組織戦略課	他市事例を収集し、引き続き検討する。
3	窓口混雑状況のWeb配信	窓口混雑状況のWeb配信のようなものがあるとよい。	中村委員	メール呼び出しは試行中。新庁舎を視野に検討していく。	組織戦略課、市民課、資産経営課	新庁舎に向けて検討を行う。
4	ホームページ	ホームページを見てもらうためのPR	中村委員	小中学校の手紙など、ホームページでより詳細に説明したい場合にQRコードを付けるという案、有効なので検討したい。	秘書広報課	市報松江やちらしを作成する際には二次元コードを作成し、ホームページを閲覧していただけるよう、継続して工夫しています。また、積極的に周知していきたい情報については、TwitterやFacebookなどSNSで情報発信をしています。投稿本文にホームページのURLを掲載したり、Instagramのストーリーズを利用してホームページを閲覧いただけるよう継続して行ってまいります。
5	ホームページ	同		災害、職員採用、成人式、確定申告など時期によってアクセスが増える情報があるという分析結果を活用し、必要とされる情報をすぐ見られるようにトップページに掲載する。	秘書広報課	特にアクセスが多い新型コロナウイルス感染症に関する情報はホームページのトップスライドから閲覧できるようにしました。発生状況やワクチンに関する情報、補助金に関する情報などを閲覧することができます。また、今年度ホームページをリニューアルします。必要な情報にアクセスしやすい環境となるよう、工夫してまいります。

No	テーマ	意見等	提案者	対応・方針(会議での回答)	所管	対応状況
6	ホームページ	読んでもらうための工夫、読み物のようなものなど。	三宅委員	読み物、シリーズものを読んでもらうことにつなげていくという御意見をいただいたので、早速、若手の検討委員会等も含めて、どういう形で実現できるか検討していきたい。	秘書広報課	市長コラムをはじめとした読み物を市報に多く掲載しており、ホームページでも市報を閲覧できるようにしています。また、TwitterなどのSNSでも市報の掲載について記事を投稿し、多くの方に閲覧いただけるように工夫しております。 ホームページリニューアル後も継続できるように、工夫してまいります。
7	マイナンバーカード	マイナンバーカードの安全性PRと利用促進	中村委員	一層の周知に努める。	市民課 マイナンバーカード交付促進室	本庁舎玄関ロビーにパネル展示による周知を実施した。イオン松江店でのポスター掲示や、交付及び出張申請の際のチラシ配布により周知を図っている。
8	マイナンバーカード	子ども連れの場合、コンビニエンスストアはあまり利用しない。コンビニ交付機がスーパー、公民館等に設置してあるとよい。	中村委員	コンビニ交付機はどこにあるか把握できていない。今後、事業者と情報共有を図り、利便性向上に努める。 公民館への設置は、カードの交付率、コンビニでの証明発行件数等の状況を見極め研究を進める。	市民課 マイナンバーカード交付促進室	引き続き、コンビニ交付の利用件数を注視しつつ、利便性と費用対効果を勘案しながら研究を進める。
9	ふるさと寄附	ふるさと寄附の目標は、どのような面を強化して達成するのか。	塩谷委員	返礼品の魅力アップと情報発信の強化に取り組んでいる。	商工企画課	・R4年度より返礼品送料負担をすることに伴い、返礼品の魅力アップを図った。また、事業者同士のコラボ返礼品や新規事業者を増やし、返礼品の内容を充実させた。 ・R3年度にポータルサイトを2つ追加した。また、メルマガ配信やSNSで返礼品提供募集を行うなどの情報発信も行っている。
10	テレワーク	市役所のテレワークの現状、今後の方針	塩谷委員	テレワークを推進するため、文書の電子化、押印の廃止を進めていく。	組織戦略課	電子決裁の導入で環境整備を進めている。
11	要配慮者支援体制	町内会単位では難しく、自治連、民児協など重層的にみていく仕組みが必要。	三宅委員	4地区で重層的な取組を行っており、今後全市に広げていきたいと考えている。	健康福祉総務課	4地区に加えて、さらに2地区でも立ち上げを計画しており、引き続き拡大を進めていく。

No	テーマ	意見等	提案者	対応・方針(会議での回答)	所管	対応状況
12	見守り協定	郵便、ガス、新聞社、タクシー、小売店などと高齢者等の見守りの協定を結んでいるが、メンテナンスをしないと機能しない。	三宅委員	メンテナンスが必要なので、改めて整理し、手順、流れ、実施体制など確認したいきたい。	介護保険課	H27の事業開始から一定期間経過したため、R2に協力事業所に対して事業の再周知を行っている。 今後も、市の高齢者の見守りに関する取り組みについて、適切な周知を図っている。 □
13	防災メール	学校、職域、PTA等をお願いしてはどうか。	三宅委員	これまでは出前講座で説明をお願いするというやり方だったが、今後、ローラー的なお願いも検討する。	防災危機管理課	令和3年12月に開催された「松江市PTA連合会」において、松江市防災メールについての説明と、登録方法について説明を行った。(参加者:市内公立小中学校PTA役員等62名) 令和3年9月からシルバー人材センターが開催した「高齢者による高齢者のためのスマホ教室(39回開催/年)」で松江市防災メール、Twitterの登録方法について案内を行った。(参加者:404名)
14	防災メール	7、8月頃にP連の理事会でメール登録の案内、出前講座の案内をしていただいてもよい。	中村委員	ぜひ行いたい。	防災危機管理課	今年度も松江市PTA連合会での説明や、高齢者による高齢者のためのスマホ教室等の機会を活用し、松江市防災メールの説明を行う予定。
15	行財政改革	合併から特に周辺部では、行財政改革の中で、公民館、幼稚園の統合、廃止がされている。地域の活力が薄れ、皆さん方が集まる場所が遠くなってなかなか行きたいけど行けない。そういう現実もある。そのようなことも含めながら施策の再検討を頂きたい。	亀城委員	(回答なし)	組織戦略課	今後、支所や公民館の在り方について市民のみなさんの意見をお聞きしながら検討する。
16	取組・資料にPDCAの視点	全体的にPDCAの視点で記載を。 ・観光施設 ゆうあい熊野館の見直し ・交通事業 など具体的な課題とそれに対する対応がわかるような記述をすべき。	加藤委員	PDCAの視点と、市民に分かりやすい資料をとすることを心がけており、資料作成についても見直しを行っていく。	組織戦略課	スケジュール管理の徹底およびPDCAの視点で取組むように実施状況報告様式を変更した。

No	テーマ	意見等	提案者	対応・方針(会議での回答)	所管	対応状況
17	スピード感と説明	いつまでに何をやるのか、スピード感を持って施策に取り組むこと。 市民に知らせるといのは相手に届かなければ知らせたことにならない。	山口委員	(回答なし)	組織戦略課	スケジュール管理の徹底およびPDCAの視点で取組むように実施状況報告様式を変更した。
18	コミュニティバス	コミュニティバスは利用者が減少している中でA評価というのは腑に落ちない。予約型のデマンドバスなどに取り組む予定はないか。	松村委員	AIデマンドバスは有効な手段だと考えており、今後新たな交通手段としてコミュニティバスのエリアにおいても、可能なエリアについては、AIデマンドバスを導入するなどより効率的、効果的な公共交通を整備していきたい。	交通政策課	令和5年度を目途に八束地区八束線、美保関地区境港線にAIデマンドバスを導入する予定